

ステータス:	解決	開始日:	2018/04/18
優先度:	通常	期日:	
担当者:	n.kawauchi	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			

説明

- Linux環境でrtmtoolsソースビルドを行うと、MANIFEST.MFファイル内のBundle-Versionは自動で更新される

例 1.1.0.rc4v20130124 1.2.0.v20180417

- これで作成されるjarファイルのバージョンは「1.2.0.v20180417」となる（例：jp.go.aist.rtm.nameserviceview_1.2.0.v20180417.jar）
- RCP版RTSystemEditorはWindows環境上でEclipse SDKを使って生成しており、リポジトリのrtmtoolsソースを使用する
- このため、ソースに残っているバージョンの1.1.0が影響して、生成したeclipseが起動エラーとなる
- RCP版RTSystemEditorをWindowsインストーラに組込む場合は、Linux環境でビルドしたjarファイルと差替えて作成したいので、1.2.0版のjarファイルで起動OKとする必要もある
- 以上の状況から、MANIFEST.MF内のBundle-Versionを1.2.0へ更新する

Bundle-Version: 1.1.0.rc4v20130124

Fragment-Host: jp.go.aist.rtm.systemeditor;bundle-version="1.1.0"

Bundle-Version: 1.2.0

Fragment-Host: jp.go.aist.rtm.systemeditor;bundle-version="1.2.0"

関係しているリビジョン

リビジョン 841 - 2018/04/18 19:29 - kawauchi

Version has been updated to 1.2.0 for generate RCP RTSystemEditor. refs #4519

履歴

#1 - 2018/04/20 18:21 - n.kawauchi

- ステータスを新規から解決に変更

- 進捗率を0から100に変更

[r841](#)にて対応完了。